

会 議 録

会 議 の 名 称	第 3 回藤井寺市病院跡地活用検討委員会
開 催 日 時	令和 7 年 6 月 3 日（火） 16：00～17：10
開 催 場 所	藤井寺市立市民総合会館本館 4 階 中会議室 B
出 席 者	〔藤井寺市病院跡地活用検討委員会 委員〕 岡山委員長、 地下副委員長、 馬場委員、 西矢委員、 前原委員、 森田委員、 東口委員、 西野委員 〔事務局〕 山本政策企画部長、 角森 FM 推進課長、 森内主幹、 脇田主幹、 山本主査 〔関係者〕 有限責任監査法人トーマツ 1 名 （順不同・敬称略）
会 議 の 議 題	（１）導入機能案について
会議録の作成方法	☐ 全文記録 ☒ 要点記録
記録内容の確認方法	☒ 会議の議長の確認を得ている ☐ 出席した構成員全員の確認を得ている ☐ その他（ ）
公開・非公開の別	☒ 公開 ☐ 非公開
傍 聴 者 数	7 人
その他の必要事項	

	<u>1. 開会</u>
	<u>2. 議事</u> 【(1) 導入機能案について】 (事務局より資料に基づき「資料1 第3回藤井寺市病院跡地活用検討委員会資料」、 「参考資料1 藤井寺市立老人福祉センター「松水苑」施設利用に関するアンケート 結果」、「参考資料2 病院跡地周辺住民のニーズについて」を説明)
西矢委員	現在、案として出ている機能を入れた施設を建てた場合、延床面積はどれぐらいになるのか。
事務局	約 4,000～5,000 m ² を想定しているが、民間参入等により変化するため、詳細な延床面積の算出はできていない。松水苑は約 2,000 m ² であるが、利用率が低い諸室等があるため、複合施設に集約する際は、最適化し延床面積を削減する想定である。
岡山委員長	施設の面積内訳としては、約 1/3 が松水苑、約 1/3 が認定こども園、約 1/3 が交流スペースなどのその他機能になる想定か。
事務局	概ねその面積内訳になる想定であるが、今後詳細を決めていく過程で変化する可能性もある。
西矢委員	園児の通園時間帯は、施設北側の道路利用量が多くなると思われる。パターン1は、施設北側から通園の自転車が進入し、通園の車は施設の南側から進入することで、自転車と車の導線を分けることができるため、パターン2に比べより安全であると考え。一方で、園児が北側の駐輪場から東側のこども園の入口に入るまでに、雨に濡れない配慮が必要である。
岡山委員長	施設の出入口の設置場所は、施設周辺の道路状況を考慮し、安全第一で考えるべきである。先ほどの松水苑アンケート調査報告によると、松水苑への交通手段は自転車が最も多い。こども園への交通手段も自転車が最も多くなると想定されるため、駐輪場を増やすのも一案である。
西矢委員	交通量需要が時間帯によって異なるため、こども園や松水苑の各施設利用者の交通量需要を考慮して、施設の出入口や設計を考えてほしい。
岡山委員長	西矢委員からの意見等を踏まえて、建築計画を設計してほしい。
西矢委員	施設周辺の道路に駐停車をされてしまうことを防ぐことも大事である。
前原委員	民間の参入意欲がある追加的な機能について、民間ヒアリングでは、個別の機能での参入意欲があったのか、または、中心となる機能と追加的な機能のセットでの参入意欲があったのか。
事務局	民間ヒアリングでは、こども園の参入意欲があり、こども園の運営を民間事業者が行え

	るのであれば、その他の追加的な機能として子育て支援機能等も参入できる意向であった。
岡山委員長	施設の核となる中心的な機能は、保育機能と健康増進機能であり、保育機能と健康増進機能を繋ぐ機能として、多世代交流機能を設けるようなイメージ。資料1の多世代交流施設事例の深川えんみちのように、高齢者とこどもが自然と交流できる施設になる想定である。加えて、有事の際の防災拠点として、防災機能を含める。一方で追加的な機能としては、民間事業者から、こども園の運営に参入できるのであれば、クリニックやカフェも参入意向があるとの意見が挙げられている状況と理解している。
前原委員	こども園について、運営形態や定員等、今後どのように検討を進めるのか。
事務局	こども園の運営形態や定員は重要な論点ではあるが、当委員会は施設機能や施設構成を議論することが主な目的であるため、こども園の運営形態等については、当委員会の意見を担当部署へ共有させていただき、担当部署において決定した方針に基づき、施設機能、施設構成の検討を進めていくことになるかと思う。
森田委員	多世代交流機能について、現在の藤井寺市内で、資料1の多世代交流施設事例で挙げられているような機能を有する施設はあるのか。
事務局	藤井寺市内の施設では、多世代交流を目的とした施設は存在しない。本日お集まりいただいている藤井寺市立市民総合会館本館は、高齢者もこどもを集える施設ではあるが、貸館機能が主であり、多世代交流を目的としている施設とはなっていない。
森田委員	リニューアル以前のアイセルシュラホールは、どのような目的で設置された施設なのか。
事務局	生涯学習を目的としており、歴史の学習やこどもから大人が集うことができる施設ではあるが、多世代交流を目的として設置された施設とはなっていない。
岡山委員長	全国各地で多世代交流がキーワードになっている。一方で、施設を設置しても、多世代交流が図れている運用を行うことが課題となっている。深川えんみちの多世代交流施設事例のように、自然に高齢者とこどもが交流できる仕掛けづくりを行ってほしい。施設配置図のパターン①とパターン②ともに、こども園の入口とその他施設の入口が分けられているが、入口を同じにすることも一案である。
森田委員	こども園と松水苑の機能を集約する時に、専門となる部署や利用者の意見を取り入れることが最も重要であると考えている。多世代交流施設が藤井寺市に存在しないのであれば、多世代交流施設が設置されている自治体の担当課から意見をもらい、多世代交流が機能する施設を設置してほしい。防災施設は、有事の際にのみ使用するのではなく、普段から貸館等で使用される施設であってほしい。また、多世代交流機能を建物内のみで考えるのではなく、屋外スペースを活用することも考慮してほしい。
東口委員	セキュリティ面を考慮し、こども園の入口を他の施設の入口と分けているとのことで

	あるが、駐輪場が1か所では不便であるため、2か所以上設置するべきである。また、施設エントランスにカフェを設置するのであれば、民間事業者による運営が効率的だと思うが、地元の産品を取り扱うなどの仕組みも検討してほしい。
西野委員	こども園が施設の主な機能であるが、こども園が休園日である日曜日・祝日も、他の施設は使用できるのか。
事務局	現在運営している各施設機能の週休日は異なるため、ニーズに応じて各施設の休館日設定を検討していきたい。
馬場委員	策定委員会も3回目を迎え、計画の骨子が固まりつつある。各施設を民間が行うのか否かを決めていくにあたり、藤井寺市の財政状況や運営可否を考慮し検討することになると思われる。施設を事業化させるにあたり、市の意向・意見を詳細にすることで、民間導入が着目され、当事業の進捗も捗る。
岡山委員長	今後、事業スキームを考えていくにあたり、馬場委員からの貴重な意見を踏まえて、進めてほしい。
西矢委員	私は松水苑を利用しているが、各クラブが個別で活動しており、クラブ間の利用者の交流が少ない。気軽に座ることができ、様々な話をするのが可能な専用のスペースを設けなければ利用者同士の交流を促進することは困難だと思われる。多世代交流施設を設置するにあたり、様々な多世代交流施設事例を勉強してほしい。
岡山委員長	多世代交流スペースと名前が付いた施設であっても、機能していない施設が多い。今後、多世代交流がうまく機能していることが分かる事例を示してほしい。
岡山委員長	最後に、本日議論した内容を整理する。追加的機能は明確になっていない部分もあるが、中心となる機能は絞られてきており、資料1で示した機能や施設構成で検討を進めることの合意が得られた。こども園や健康増進機能は主要な機能として固まりつつある。多世代交流機能は、成功例と失敗例があり、交流が図れる仕掛けをイメージできる事例を今後示してほしい。施設の運営形態については、こどもから高齢者の多世代向けの施設であるため、全ての施設を公営か民営のどちらにするかではなく、各施設の機能に応じて個別の議論が必要になる。庁内の関係部署と検討を進める時に、本委員会の意見を踏まえた議論としてほしい。ゾーニング図も、本委員会の意見を踏まえて検討を進め、あわせて事業スキームの提案もしてほしい。
事務局	今後の進め方について様々な意見を頂戴したが、病院跡地にかかる基本構想の検討においては、具体的な施設の図面や運営などのソフト面の内容を決めるところまでは想定しておらず、施設機能と簡易的なゾーニング案を示すことを着地点と想定している。その後の施設機能の図面への落とし込みや運営方法を具体化する時に、頂戴した意見を踏まえることになるということをご了承いただきたい。
岡山委員長	計画素案の形で、示していただき、素案に対して委員から意見をいただければと考える。

事務局	意見を踏まえたうえで、計画をより進めていきたいと考えている。
岡山委員長	決定案でなくとも、意見を出すには具体的な案が必要になるため、意見を交換できる計画案になるといい。
事務局	<u>3. 閉会</u> ・会議録の公開について、これまで同様事務局で会議録を作成し、委員長に確認いただいた後、市ホームページにて会議資料と併せて掲載させていただく。 ・次回委員会については、本日いただいた意見を反映し、より詳細に検討を進め、準備が出来次第、日程調整のご連絡をさせていただく。